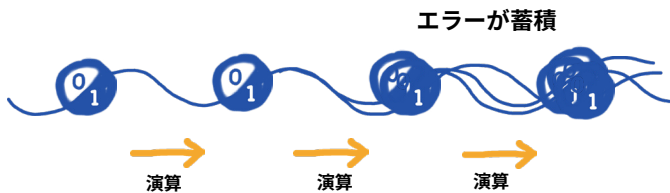


どうやって量子コンピュータを作るの？

量子ビットの間違いを正す: 誤り耐性型汎用量子コンピュータの実現

演算を続けると、量子ビットの制御の誤差によるエラー（誤り）が蓄積して、答えの精度が下がってしまう



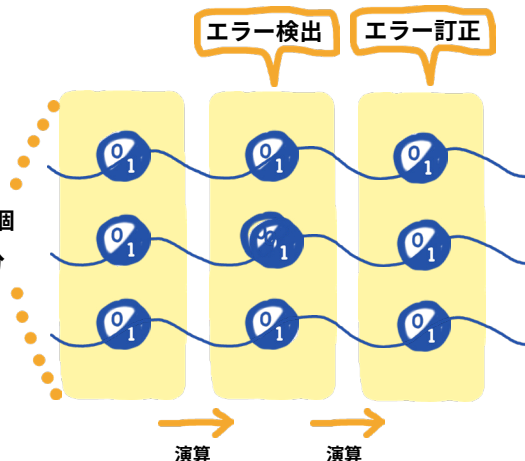
従来のコンピュータもエラーを起こすが、訂正する機能がある



2050年

「誤り耐性型」になれば、正しく演算が続けられる！

量子ビットを複数個連携させて、1個分の情報を表す



量子ビット全体を見て、連携する量子ビットの間に乱れがあればエラーを訂正して演算を続ける。

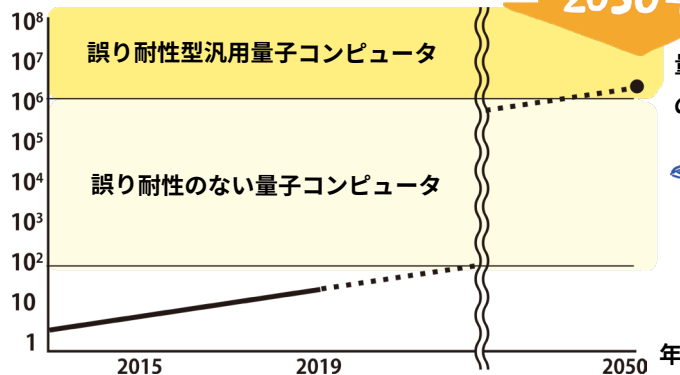
もっとたくさんの量子ビットが必要！



誤り耐性型の量子コンピュータを作るには、数百万から一億個の量子ビットを安定して使う必要がある

今の量子コンピュータの量子ビット数はまだ100個未満

量子ビット数



誤り耐性型汎用量子コンピュータ

誤り耐性のない量子コンピュータ

量子ビット数百万個の量子コンピュータ

